

【お知らせ】

## SpiderPlus & Co.

2024年 8月21日  
スパイダープラス株式会社  
代表取締役社長 伊藤謙自  
(東証グロース：4192)

### 新菱冷熱工業のデータ分析基盤とSPIDERPLUSが連携

スパイダープラス株式会社（以下、「当社」）は、当社提供の建設DXサービス「SPIDERPLUS」が、新菱冷熱工業株式会社（以下、「新菱冷熱工業」）のデータ分析基盤（以下、「BIツール」）と連携したことをお知らせいたします。

新菱冷熱工業は2012年よりSPIDERPLUSを全社導入し利用していますが、さらに積極的な社内利用を進めることになりました。SPIDERPLUSの利用状況をBIツール上で確認したいという新菱冷熱工業の要望に対し、当社が開発を行いました。

建設業界では、先進的なDX化に取り組む新菱冷熱工業のように、大手企業を中心に建設現場の情報と基幹システムとのデータ連携や建設現場のデジタル化された情報の活用に関するニーズが高まっております。

これらを踏まえて当社は、「顧客の基幹システムとSPIDERPLUSに蓄積されたデータの連携開発」など、個社開発サービス（サービス名：プロフェッショナル・サービス）を重要施策として推進しております。

プロフェッショナル・サービスを推進することにより、建設業界で高まるデータ連携やデータ活用ニーズを捉え、SPIDERPLUSの活用促進や導入拡大を効率的に進めてまいります。

## 現場のDX推進状況を可視化

データ主導による全社的な業務改善に



## 1. 本連携の内容と期待効果

新菱冷熱工業が利用するBIツールとの連携により、以下の効果が期待されます。

### (1) SPIDERPLUS利用状況の正確な把握

新菱冷熱工業の各現場でのSPIDERPLUSの利用状況が、毎日見えるようになります。利用状況のデータがBIツール上で収集され、集約したデータの分析や利活用が可能になります。

### (2) データ主導のSPIDERPLUS活用促進

正確な利用データにもとづき、SPIDERPLUSの活用を促進するための課題抽出や改善施策を進め、全社規模の業務効率化を目指します。

### (3) データ利活用による新たな価値の提供

SPIDERPLUS利用状況データを利活用することは、施工プロセスの変革、ひいては建設業全体の生産性と品質向上に貢献します。本取り組みは、最適なソリューションなど新たな価値を提供します。

本連携によって、データ主導によるSPIDERPLUSのさらなる活用促進と業務効率化を進め、新菱冷熱工業が進めているデジタル活用、データ連携による「施工プロセスの変革」を、当社もともに目指してまいります。

### 【本件に関するお問合せ】

スパイダープラス株式会社 経営企画部IR担当

メール問い合わせ先：ir@spiderplus.co.jp 電話問い合わせ先：03-6709-2834

以上